

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月7日

新明和工業株式会社

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

2024年3月期 連結決算実績

- ※ 当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
- ※ 当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

- 2024年3月期決算は、ほぼ計画どおりの仕上がりとなった。
- 2024年3月期期末の配当予想を1株当たり24円50銭に修正（前回予想は1株当たり22円50銭）。
- 2025年3月期業績予想は、コストアップによる減益要因はある一方で、「特装車」の生産量回復と売価改定効果などにより、増収増益となる見込み。
- 本日、3か年(2024～2026年度)の新中期経営計画を発表。詳細説明は、5月17日IR説明会(オンライン開催)にて実施予定。(説明会資料は5月14日当社ウェブサイトで公開)。

2024年3月期 連結決算実績 サマリー

(単位：百万円)

	23.3期 実績	24.3期		増減 (増減率)			
		通期予想	実績	前期比		通期予想比	
受注高	267,159	278,000	291,370	+ 24,211	(+9.1%)	+ 13,370	(+4.8%)
売上高	225,175	253,000	257,060	+ 31,885	(+14.2%)	+ 4,060	(+1.6%)
営業利益	9,293	12,000	11,765	+ 2,471	(+26.6%)	△234	(△0.2%)
経常利益	9,902	11,700	12,106	+ 2,203	(+22.3%)	+ 406	(+3.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,313	7,300	7,279	△33	(△0.5%)	△20	(△0.3%)
受注残高	255,859	280,859	291,431	+ 35,571	(+13.9%)	+ 10,571	(+3.8%)
ROE	7.6%	—	7.1%	△0.5pt	—	—	—
ROIC*	4.4%	—	5.3%	+ 0.9pt	—	—	—
為替レート (1USドル)	135.5円	135.0円	144.8円				

前期比

受注高

- 「特装車」を除く全てのセグメントが増加した結果、全体では増加。
- 前年に続き、過去最高を更新。

売上高

- 「その他」を除く全てのセグメントが増収となり、全体では増収。
- 過去最高を更新。

利益

- 営業利益は、増収による増益。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益の減少と税金費用の増加により前期並みの水準。

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

2024年3月期 連結決算実績 セグメント別

(単位：億円)

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減
特装車	1,141	1,067	△73	913	1,005	+92	7	23	+16
パーキングシステム	399	543	+144	386	413	+27	26	27	+0
産機・環境システム	488	526	+37	334	429	+95	29	33	+4
流体	251	263	+11	244	263	+18	39	41	+1
航空機	241	326	+85	231	319	+87	13	21	+7
その他	149	186	+36	141	139	△2	7	6	△0
調整額	—	—	—	—	—	—	△30	△36	△5
合計	2,671	2,913	+242	2,251	2,570	+318	92	117	+24

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	23.3期末	24.3期末	増減
現預金	22,745	23,382	+ 637
売上債権	71,417	91,140	+ 19,722
棚卸資産	53,802	58,684	+ 4,881
有形・無形固定資産	45,191	47,628	+ 2,437
その他資産	33,749	39,266	+ 5,516
資産合計	226,907	260,102	+ 33,195
買入債務	27,310	34,166	+ 6,855
有利子負債	52,417	50,616	△1,800
その他負債	46,739	66,584	+ 19,844
負債合計	126,467	151,367	+ 24,900
自己資本	98,747	107,008	+ 8,261
その他純資産	1,692	1,725	+ 33
純資産合計	100,439	108,734	+ 8,294
負債・純資産合計	226,907	260,102	+ 33,195

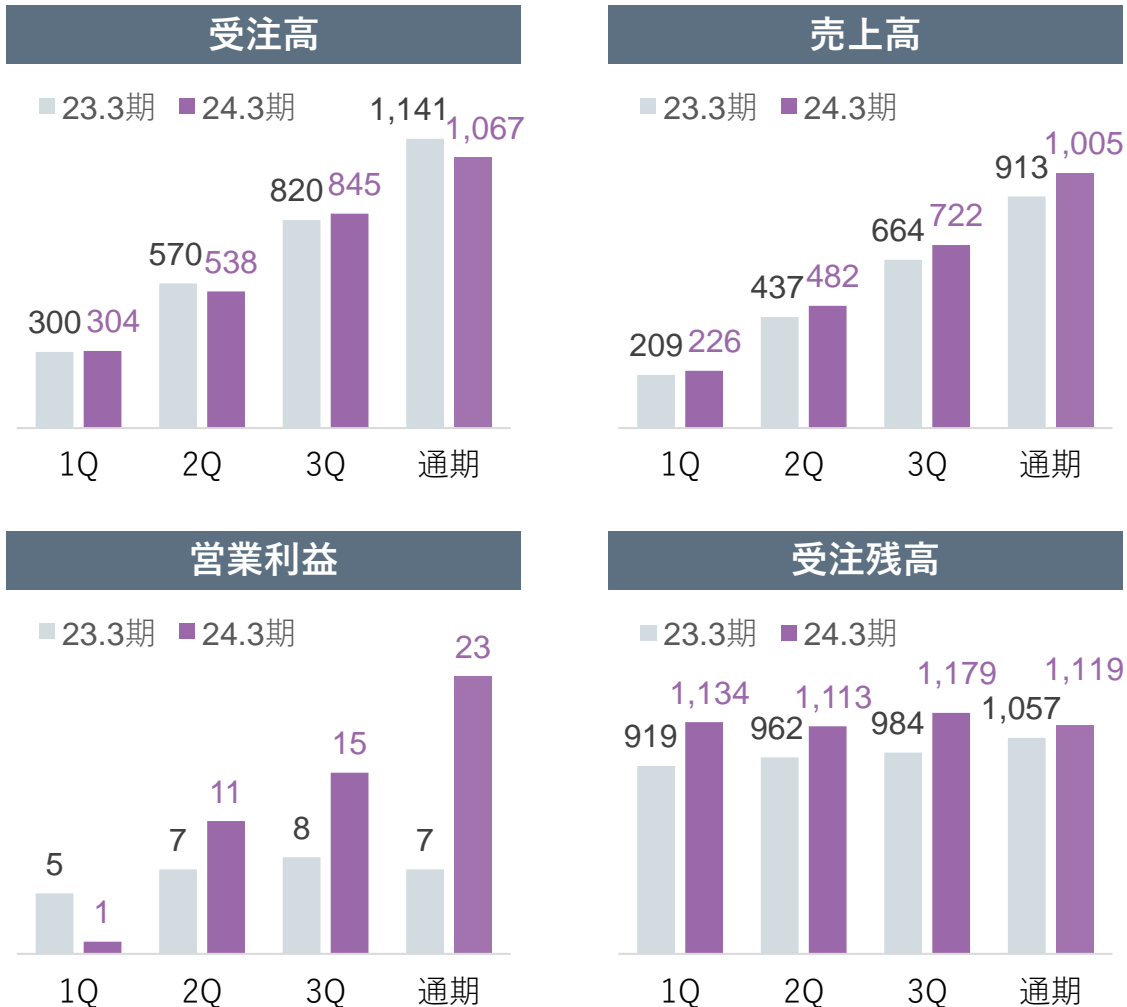
自己資本比率	43.5%	41.1%
--------	-------	-------

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	23.3期	24.3期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	6,404	14,065	+ 7,661
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,164	△8,217	△1,053
フリー・ キャッシュ・フロー	△760	5,848	+ 6,608
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,108	△5,884	△1,776

業績推移 (単位：億円)



通期実績 (前期比)

受注高

- 林業用機械等の増加
- 建設関連車両、環境関連車両の減少

売上高

- 建設関連車両、物流関連車両、環境関連車両の増加

営業利益

- 増収による増益 (価格改定効果含む)

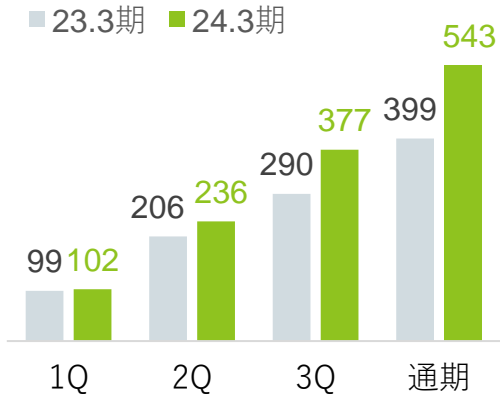
受注残高の手持月数推移 (単位：カ月) ※

23.3期				24.3期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
11.9	12.6	13.0	13.9	12.7	12.8	14.2	13.4

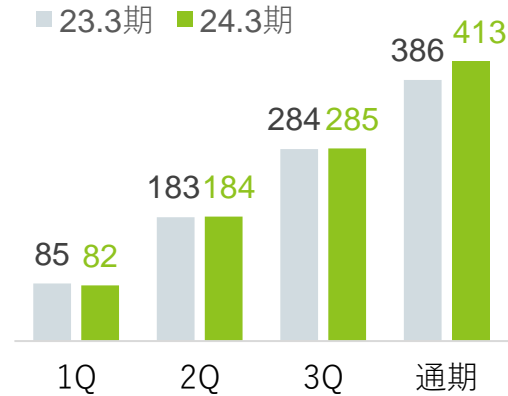
※受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出 (1Q~3Qは通期業績予想を基準に算出)

業績推移 (単位：億円)

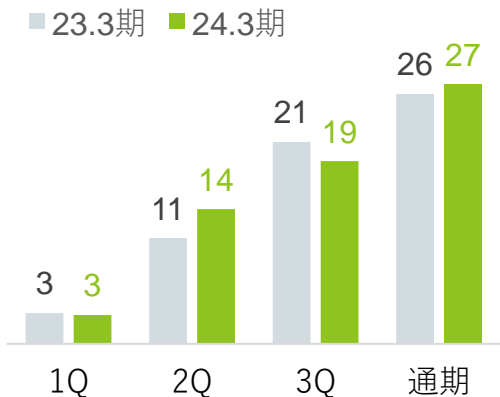
受注高



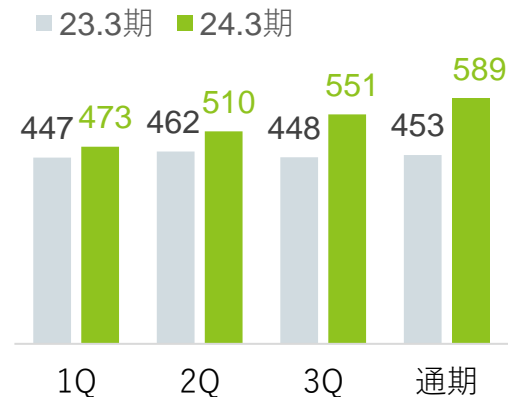
売上高



営業利益



受注残高



通期実績 (前期比)

受注高

- 機械式駐車設備：製品の増加
- 航空旅客搭乗橋：海外の増加

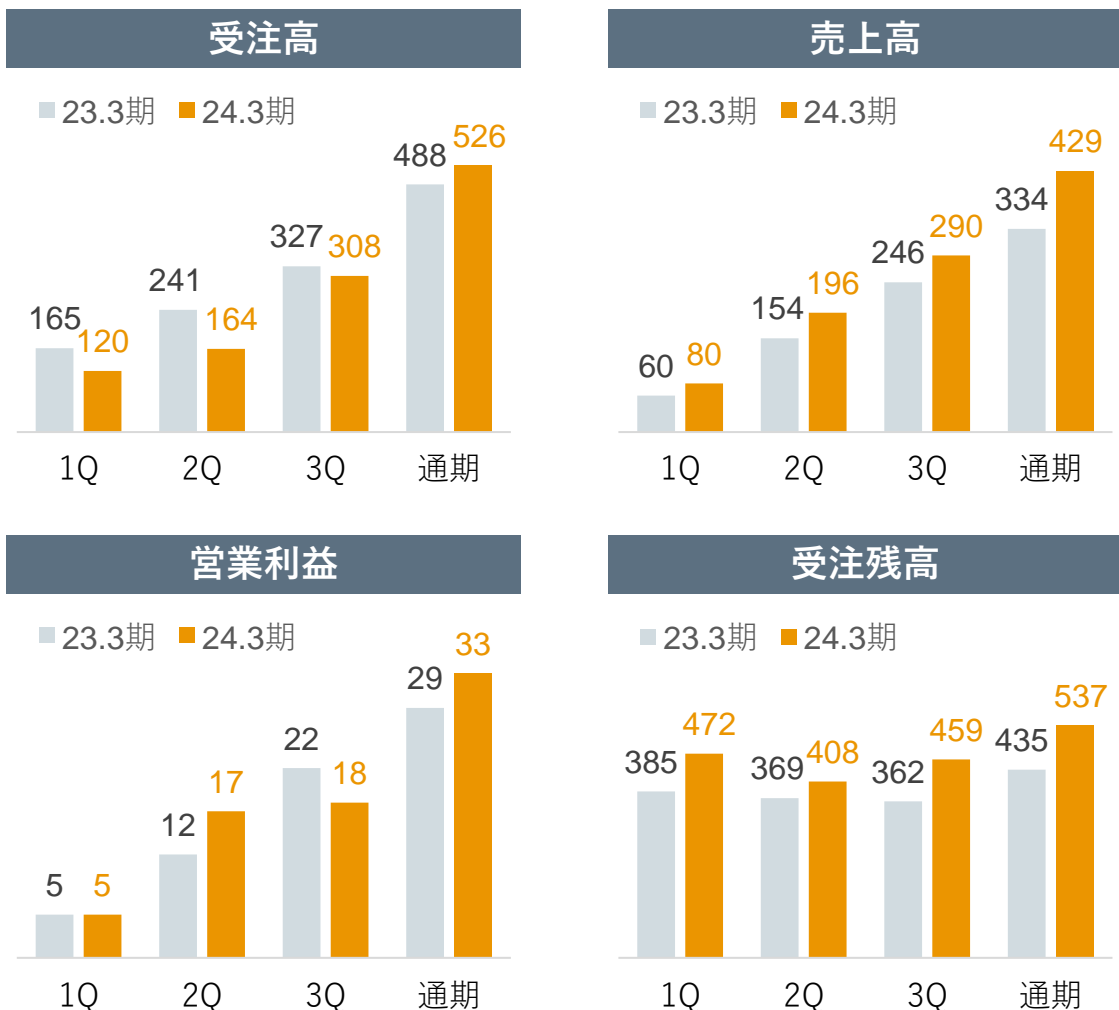
売上高

- 機械式駐車設備：製品の減少
- サービス事業の増加
- 航空旅客搭乗橋：国内、海外ともに増加

営業利益

- 機械式駐車設備：サービス事業の増収による増益
- 航空旅客搭乗橋：原価悪化等に伴う減益

業績推移 (単位：億円)



通期実績 (前期比)

受注高

メカトロニクス製品：真空製品の減少
環境関連事業：サービス事業（プラント施設の運営業務）の増加

売上高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
環境関連事業：プラント案件の増加

営業利益

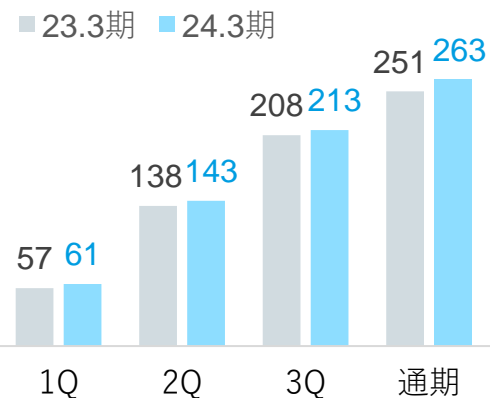
メカトロニクス製品：運営費の増加等による減益
真空製品の増収による増益
環境関連事業：増収による増益

サブセグメント別 受注高・売上高推移 (単位：億円)

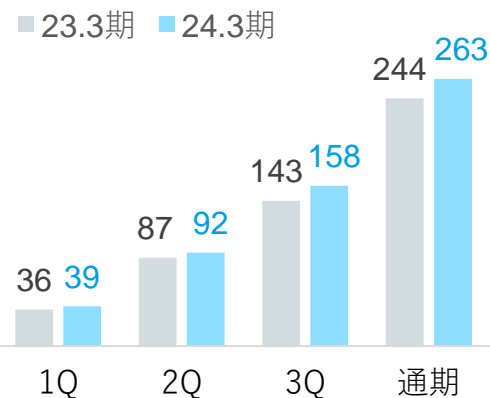
サブセグメント	23.3期				24.3期				
	1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期	
メカトロニクス製品	受注高	125	163	197	341	41	69	110	214
	売上高	44	117	183	236	61	149	207	279
環境関連事業	受注高	39	77	130	146	78	95	198	311
	売上高	16	36	62	97	19	47	82	150

業績推移 (単位：億円)

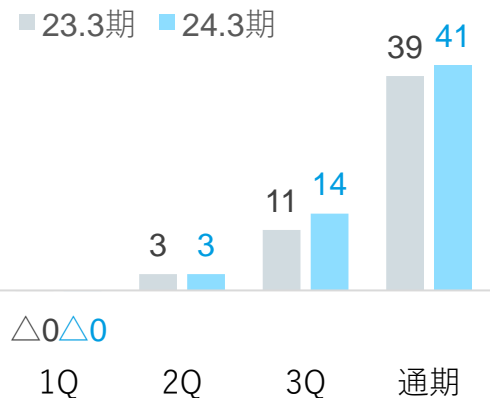
受注高



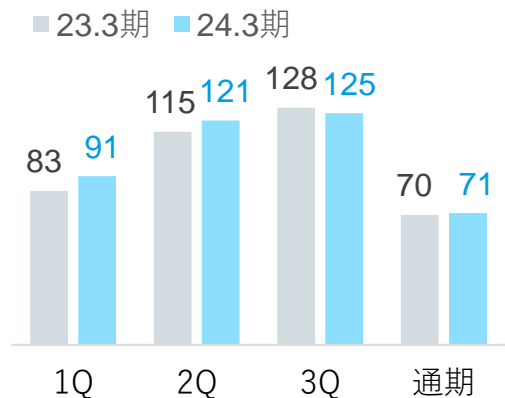
売上高



営業利益



受注残高



通期実績 (前期比)

受注高

- 海外を中心に需要が堅調に推移し増加

売上高

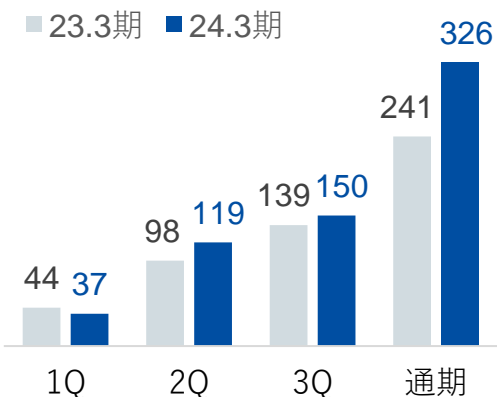
- 機器、システム製品の増加
- サービス事業の増加

営業利益

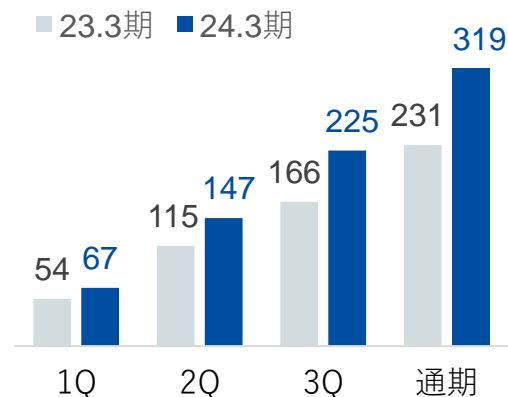
- 増収による増益

業績推移 (単位：億円)

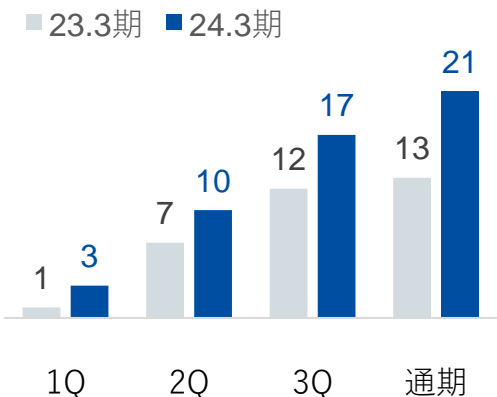
受注高



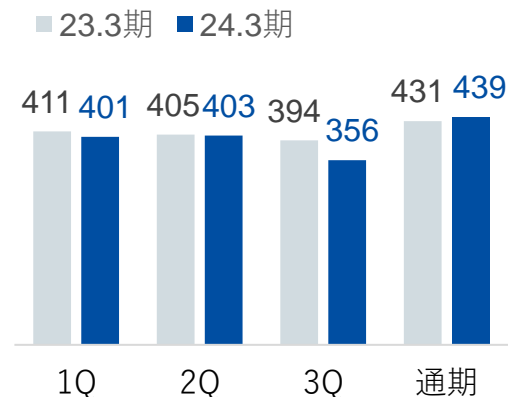
売上高



営業利益



受注残高



通期実績 (前期比)

受注高

防衛省向け：輸送機向け・哨戒機向けコンポーネントの増加
連結子会社（ウイングフィールド）の増加
民需関連：「787」受注機数増加
為替の円安による増加

売上高

防衛省向け：US-2型救難飛行艇 製造作業の増加
民需関連：「777/777X」「787」生産機数増加
為替の円安による増収

営業利益

増収および為替の円安による増益

民需関連 生産機数

(単位：機)

	23.3期	24.3期
777/777X	25	39
787	23	41
G7500	42	34

2025年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	24.3期 実績	25.3期 予想	増減 (増減率)	
受注高	291,370	278,000	△13,370	(△4.6%)
売上高	257,060	285,000	+27,939	(+10.9%)
営業利益	11,765	13,000	+1,234	(+10.5%)
経常利益	12,106	12,200	+93	(+0.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,279	7,500	+220	(+3.0%)
受注残高	291,431	284,431	△7,000	(△2.4%)
1株当たり年間配当金	47円	50円	+3円	—
配当性向	42.6%	44.0%	+1.4pt	—
為替レート (1USドル)	144.8円	140.0円※		

※ 25.3期 予想の為替レートについては、5月以降の前提レートを表示しています。

前期比

受注高

- 前期に大口案件を受注した「産機・環境システム」を中心に、「パーキングシステム」を除く全てのセグメントが減少することから、全体では減少する見通し。

売上高

- 「流体」を除く全てのセグメントが増収となり、全体では増収（過去最高）となる見通し。

利益

- 増収による増益となる見通し。






一株当たり年間配当金

- DOEを採用、増配。

為替感応度 (25.3期)

1円/USドルの円安進行で約1.2億円の営業利益増

2025年3月期の事業環境（報告セグメント）

セグメント	予想	2025年3月期の事業環境見通し（前期比較）
特装车		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 主要部品の供給遅延等に伴う生産活動の停滞は、段階的に改善し、前期に比べて売上増となる見通し。 ➤ 原材料価格や人件費、物流費等のコストアップ要因はあるも、前期初から行った2度目の売価改定効果は、順調に受注に反映されており、今期の増益要因として本格的に顕在化する見通し。
パーキングシステム		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 機械式駐車設備は、製品の新設、サービス事業ともに引き続き堅調に推移する見通し。前期は、物価上昇による原材料費や輸送費、人工単価等の高騰に伴い工事損失引当金を計上。コストアップに対応した売価改定に取り組む。 ➤ 航空旅客搭乗橋は、コロナ禍で延期、中断していた案件が動きだし、市場は急速に回復。受注、売上規模ともに拡大する見通し。
産機・環境システム		<ul style="list-style-type: none"> ➤ メカトロ事業は、今期の受注は、前期からの繰り越し等があり増加する一方、人件費等のコストアップにより減益となる見通し。ここ数年、EV市場の成長に連動し業績拡大を続けた真空乾燥装置の需要は、成熟化を予想。なお、メカトロ事業は海外売上高比率が高い。 ➤ 環境関連事業は、需要は旺盛であるものの、大口受注を獲得した前期に比べ受注は減少する見通し。プラント案件の工事進捗に伴い、売上は増加するも、コストアップにより減益となる見通し。
流体		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 国内官需関連は、国土強靱化対策推進等による豪雨・浸水対策分野が引き続き伸長する見通し。国内民需関連は、エネルギー価格高騰により省エネ製品への関心が高く、食品・半導体等の工場向けなどで需要増。海外関連もアジア市場、北米市場を中心に底堅く推移する見通し。 ➤ 施工管理・サービスを担う技術員の不足による、前期の工事・サービスの受注・売上の状況、今期の受注見通しから、売上の端境期となること、海外市場における価格競争の激化等により減収減益となる見通し。
航空機		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 防衛省向けは、主力製品であるUS-2型救難飛行艇の製造作業減少を見込むものの、その他の機体向けのコンポーネント等が増加する見込みであり、全体では売上は増加する見通し。 ➤ 民需関連も、為替変動による業績影響は大きいものの、主力のボーイング社向け製品が回復基調により、前期と比べて生産機数は増加する見通し。

2025年3月期 連結業績予想 セグメント別（前期比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	24.3期 （実績）	25.3期 （予想）	増減	24.3期 （実績）	25.3期 （予想）	増減	24.3期 （実績）	25.3期 （予想）	増減
特装車	1,067	1,050	△17	1,005	1,127	+121	23	42	+18
パーキングシステム	543	620	+76	413	498	+84	27	30	+2
産機・環境システム	526	408	△118	429	453	+23	33	30	△3
流体	263	255	△8	263	259	△4	41	38	△3
航空機	326	321	△5	319	347	+27	21	22	+0
その他	186	126	△60	139	166	+26	6	8	+1
調整額	—	—	—	—	—	—	△36	△40	△3
合計	2,913	2,780	△133	2,570	2,850	+279	117	130	+12

補足資料

商号	新明和工業株式会社
本社	兵庫県宝塚市新明和町1-1
設立	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
代表者	取締役社長 五十川 龍之 (いそがわ たつゆき)
従業員数	連結 6,181名 単体 3,163名 (2024年3月末現在)
連結子会社	29社

セグメント別 売上高 構成比 (24.3期)

航空機

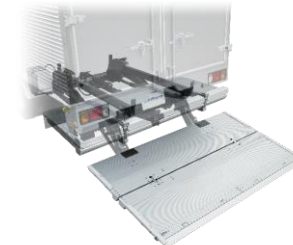


その他

特装車



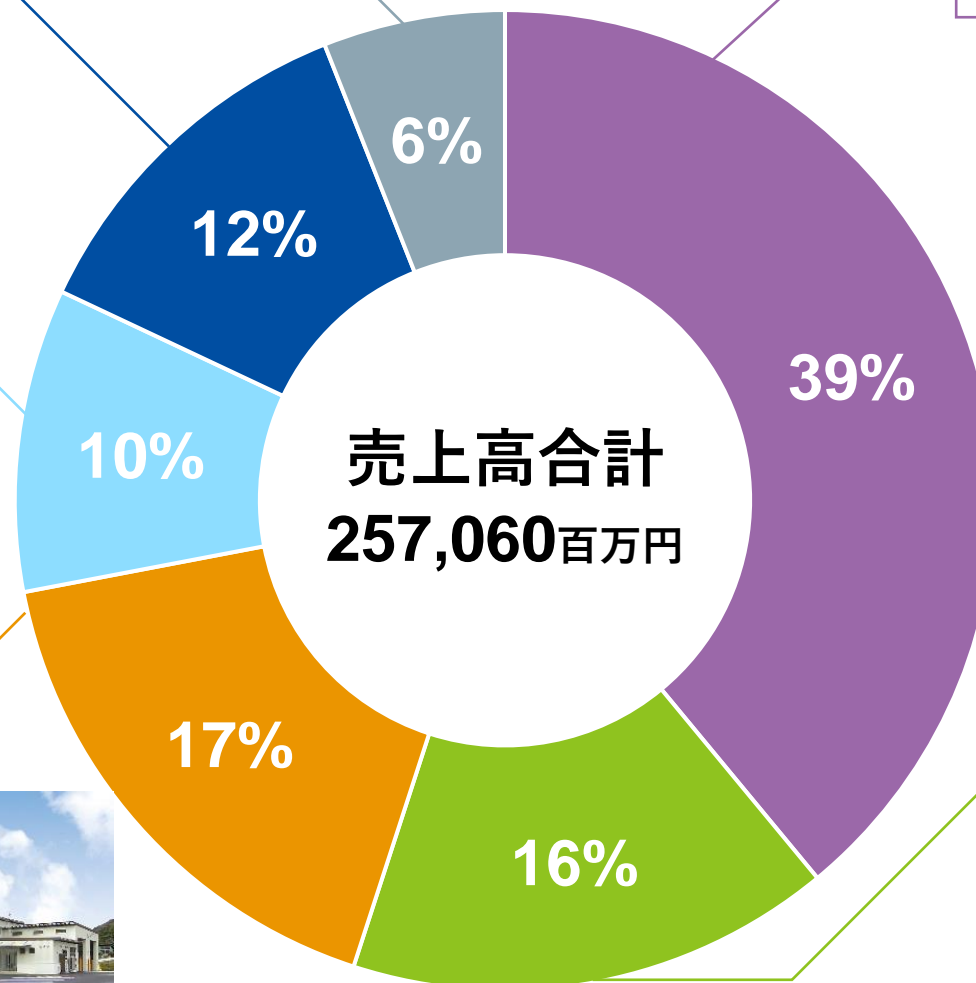
流体



産機・環境システム



パーキングシステム



(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期
受注高	2,039	2,100	2,097	2,305	2,379	2,218	1,993	2,631	2,671	2,913
売上高	1,931	2,039	2,012	2,073	2,172	2,272	2,092	2,168	2,251	2,570
営業利益	136	152	130	105	107	128	104	105	92	117
営業利益率 (%)	7.1	7.5	6.5	5.1	4.9	5.6	5.0	4.9	4.1	4.6
経常利益	143	155	132	107	104	123	111	118	99	121
親会社株主に帰属する 当期純利益	91	102	89	70	69	73	54	69	73	72
受注残高	1,187	1,245	1,327	1,561	1,773	1,719	1,616	2,103	2,558	2,914
海外売上高	456	481	430	425	428	432	271	310	463	532
有利子負債	41	20	1	0	498	575	545	522	524	506
自己資本	1,058	1,129	1,182	1,248	823	829	879	924	987	1,070
ROE (%)	9.1	9.4	7.7	5.8	6.8	8.9	6.4	7.7	7.6	7.1
ROIC* (%)	8.3	9.1	7.7	6.0	5.8	6.5	5.1	5.1	4.4	5.3

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

業績の推移 セグメント別①

(単位：百万円)

セグメント	項目	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期
特装車	受注高	91,006	79,649	89,722	91,303	107,463	101,012	94,246	118,662	114,151	106,773
	売上高	84,775	87,462	89,304	90,317	92,333	94,627	94,777	97,190	91,311	100,523
	営業利益	6,929	6,748	8,348	6,313	6,544	6,802	6,707	5,354	707	2,313
	営業利益率 (%)	8.2	7.7	9.3	7.0	7.1	7.2	7.1	5.5	0.8	2.3
パーキングシステム	受注高	29,805	30,674	31,561	55,017	35,797	36,275	37,332	38,133	39,901	54,360
	売上高	27,440	29,359	31,145	31,979	33,863	37,805	35,228	38,099	38,627	41,338
	営業利益	1,330	1,814	1,850	1,780	2,343	3,223	3,228	3,066	2,686	2,765
	営業利益率 (%)	4.8	6.2	5.9	5.6	6.9	8.5	9.2	8.0	7.0	6.7
産機・環境システム	受注高	28,583	31,899	29,209	30,424	38,533	42,685	36,980	37,052	48,805	52,600
	売上高	27,928	30,155	29,451	30,099	33,810	38,370	37,195	25,560	33,425	42,985
	営業利益	1,878	1,985	2,219	2,468	2,474	2,748	2,989	1,724	2,923	3,359
	営業利益率 (%)	6.7	6.6	7.5	8.2	7.3	7.2	8.0	6.7	8.7	7.8

※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

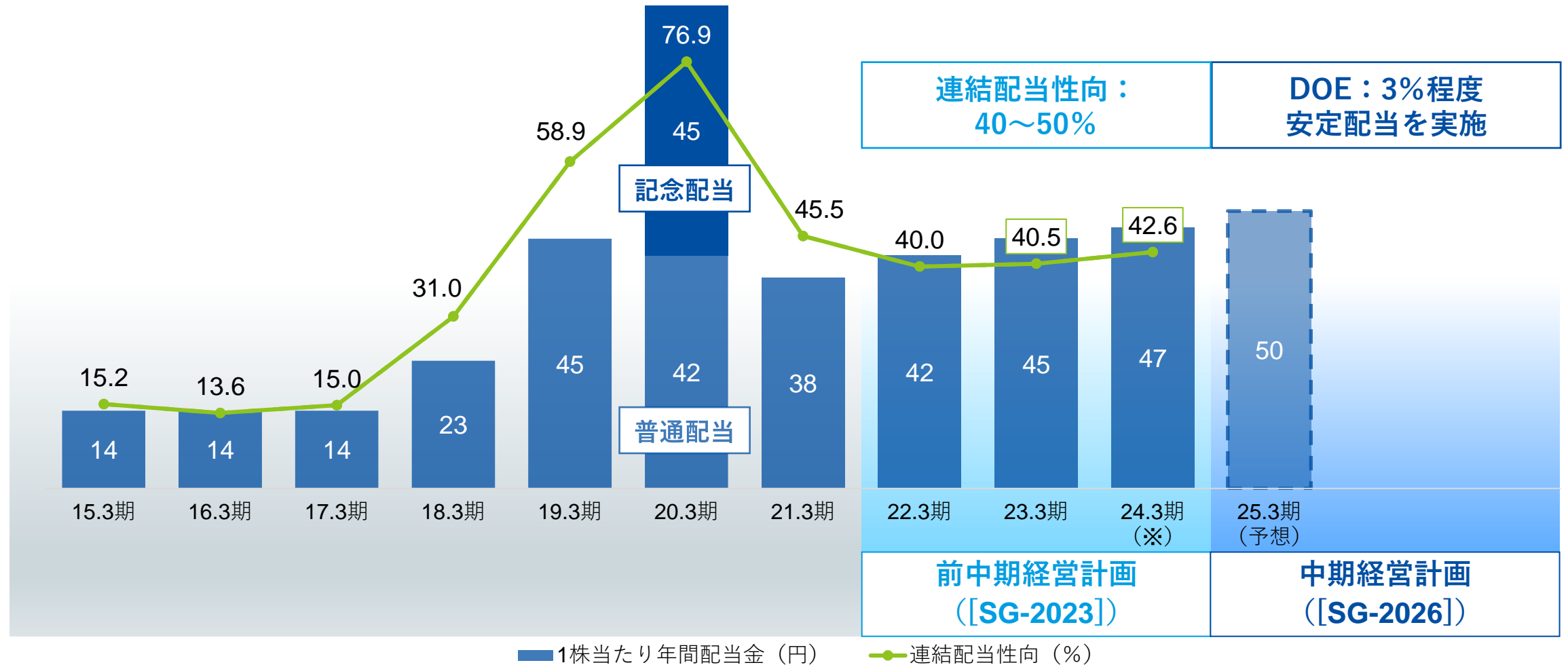
業績の推移 セグメント別②

(単位：百万円)

セグメント	項目	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期
流体	受注高								22,130	25,165	26,344
	売上高								20,787	24,485	26,330
	営業利益								3,151	3,916	4,103
	営業利益率 (%)								15.2	16.0	15.6
航空機	受注高	44,068	55,502	43,741	40,803	35,772	30,393	13,378	31,711	24,187	32,690
	売上高	41,143	47,262	39,028	40,699	43,635	38,950	25,957	19,137	23,136	31,915
	営業利益	5,263	6,546	2,000	1,368	649	1,551	△808	△875	1,397	2,187
	営業利益率 (%)	12.8	13.9	5.1	3.4	1.5	4.0	△3.1	△4.6	6.0	6.9
その他	受注高	10,505	12,340	15,498	13,005	20,336	11,511	17,371	15,472	14,945	18,600
	売上高	11,843	9,677	12,274	14,239	13,654	17,476	16,066	16,047	14,188	13,968
	営業利益	439	796	960	1,049	1,037	1,193	1,445	955	739	667
	営業利益率 (%)	3.7	8.2	7.8	7.4	7.6	6.8	9.0	6.0	5.2	4.8

※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

1株当たり配当金と連結配当性向の推移



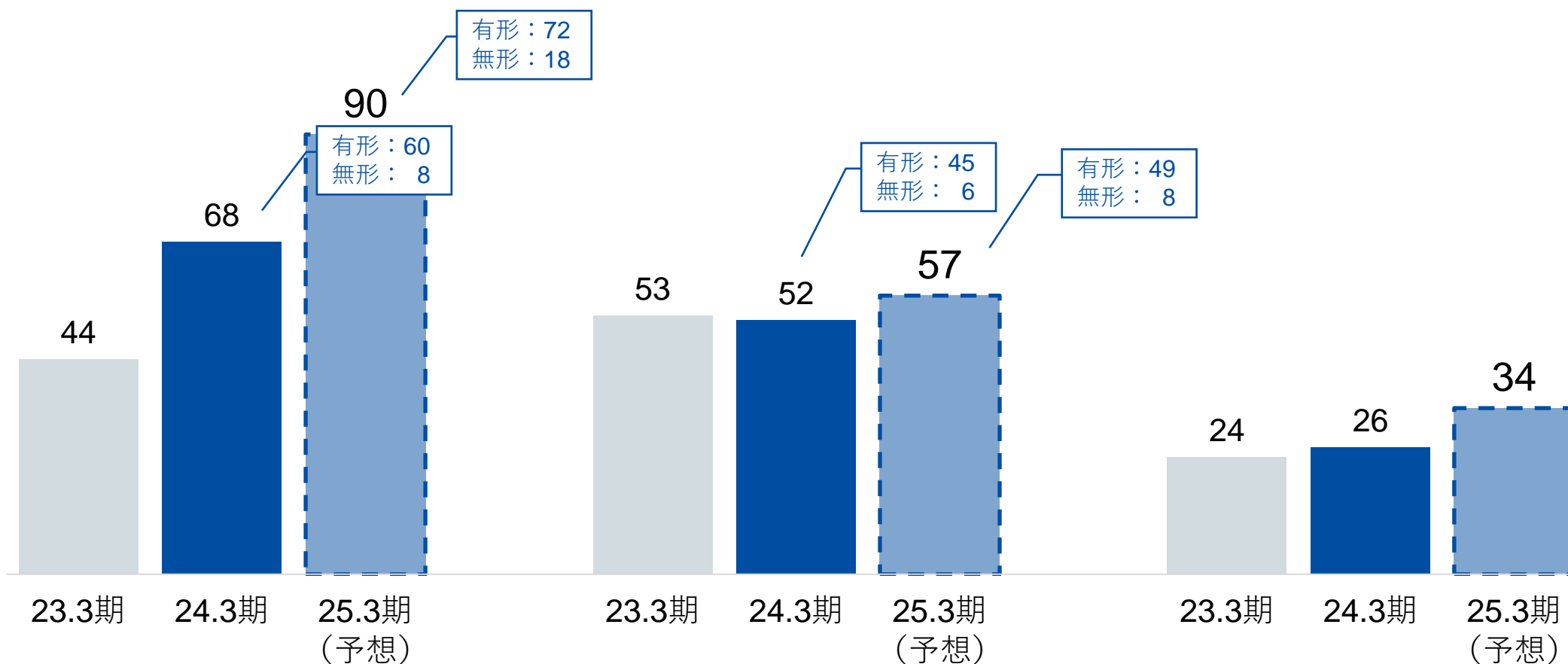
連結配当性向：40～50% DOE：3%程度安定配当を実施

※ 定時株主総会での決議をもって正式決定となります。

設備投資額 (単位：億円)

減価償却費 (単位：億円)

研究開発費 (単位：億円)



海外売上高 セグメント別

(単位：億円)

	特装車			パーキングシステム			産機・環境システム			流体			航空機			その他			合計		
	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減	23.3期	24.3期	増減
日本	857	958	+101	361	387	+26	124	185	+61	184	199	+15	118	167	+48	141	139	△2	1,787	2,038	+250
アジア	20	15	△5	25	25	+0	141	71	△70	43	45	+2	-	-	-	-	-	-	230	157	△72
北米	0	-	△0	-	-	-	15	159	+144	9	10	+0	102	142	+40	-	0	+0	127	313	+185
その他	35	31	△3	-	-	-	53	13	△39	7	7	+0	10	9	△1	-	-	-	106	61	△44
売上高合計	913	1,005	+92	386	413	+27	334	429	+95	244	263	+18	231	319	+87	141	139	△2	2,251	2,570	+318
海外売上高比率 (%)	6.1	4.6	△1.5 pt	6.5	6.2	△0.3 pt	62.7	56.8	△5.9 pt	24.6	24.2	△0.4 pt	48.9	47.7	△1.2 pt	0	0	-	20.6	20.7	+0.1 pt

- 2024年2月 [ビジネスジェット整備事業の協業について](#)
- 2024年3月 [役員異動・人事異動・機構改革のお知らせ](#)
- 2024年3月 [新型eCanter 架装リヤダンプトラックを発売](#)
- 2024年3月 [宝塚市（兵庫県）と包括連携協定を締結](#)
- 2024年3月 [春闘交渉回答について](#)
- 2024年4月 [省エネ・低騒音 ルーツブロワ「ヘリカルX」を開発](#)
- 2024年4月 [入社式 社長訓示](#)
- 2024年4月 [コミュニケーションツール「新明和スマートコネクト」対象製品を拡大](#)
- 2024年4月 [海上位置情報共有・捜索支援サービス披露イベントで、固定翼無人飛行艇「XU-M」が紹介されました](#)



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら

当社は、投資家の皆さまに当社をより深くご理解いただくことを目的として、株式会社シェアードリサーチに投資に必要な情報を網羅した調査レポートの作成を依頼しております。

調査レポートは、企業分析と当社グループへの取材による情報を、投資家目線で中立かつ客観的に作成されており、決算発表やプレスリリース等に基づき、適宜更新されます。

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/7224>

当社事業の理解促進にお役立て下さい。



新明和ってどんな会社？

個人投資家の皆様へ >
主要事業をわかりやすくご紹介しています。

沿革 >
歴史映像や、創業100周年を記念して制作した歴史コミックをご覧ください。

研究開発 >
都市・輸送・環境インフラの高度化に取り組んでいます。

動画ライブラリー >
会社案内や製品を動画でご紹介しています。

Sustainability >
経営方針やESGに関する活動を報告しています。

ShinMaywa INSIGHT >
社会と暮らしをより安全、便利、スムーズに変えていく新明和グループの取り組みをご覧ください。

IR問い合わせ先

ディスクロージャー・ポリシー

免責事項

個人投資家の皆様へ >
新明和グループを、より知っていただける情報をご案内します。

企業と投資家をツナグ RIMSNET
IR情報 メール配信
配信のご登録はこちら

Shared Research
シェアードリサーチ社による当社の調査レポートはこちらをご覧ください。

当社の企業ニュースや財務活動をEメールでタイムリーにお知らせしています。

以下URLからアクセスできますので、ぜひご登録ください。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=7224>



本資料は、新明和工業株式会社（以下「当社」といいます。）またはそのグループ会社（以下「当社グループ」といいます。）に関連する見直し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報（以下「将来情報」といいます。）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見直し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社